

浅間山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

2月9日07時46分頃、浅間山山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。その後もごく小規模な噴火が断続的に発生し、13時40分頃には噴煙が火口縁上600メートルまで上がりました。

山頂火口から4kmの範囲では、噴火に伴う大きな噴石（風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きさのもの）の飛散等に警戒が必要です。

○ 活動概況

・ 噴火の状況

2月9日07時46分頃、浅間山山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。噴煙の高さは火口縁上400mで、東に流れました。その後も、噴火は断続的に発生し、13時40分頃には噴煙は火口縁上600mまで上がり北東に流れました。

これらの噴火により、鬼押ハイウェイ料金所（山頂火口の東側約4km）、浅間六里ヶ原休憩所（山頂火口の北東約4km）、浅間牧場（山頂火口の東北東側約7.3km）でごく微量の降灰が確認されています。

浅間山で噴火が発生したのは2009年2月2日の小規模な噴火以来です。

・ 地震活動及び地殻変動の状況

地震活動及び傾斜計のデータには、噴火前後で顕著な変化は認められません。



図1 噴煙の状況（2月9日13時44分、鬼押しカメラ）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平20業使、第385号）。



図 2 噴煙の状況（2月9日13時40分頃、軽井沢消防署から撮影）

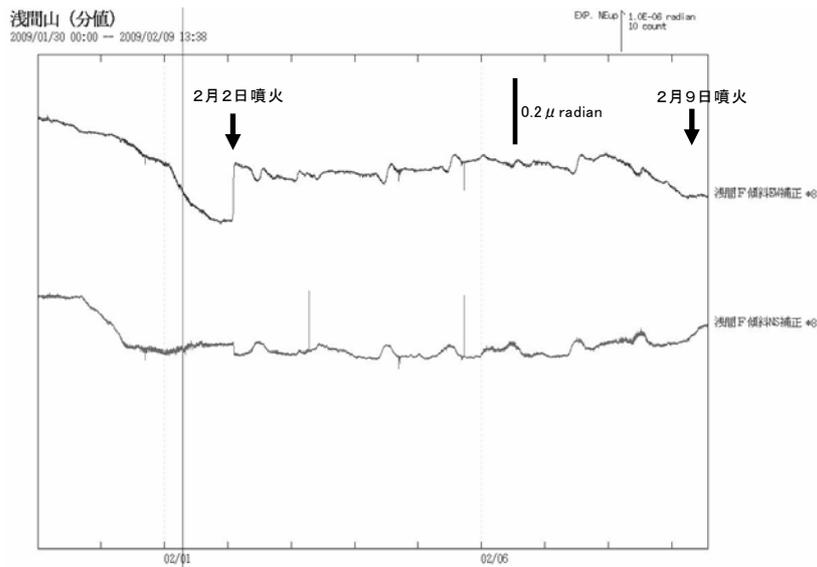


図 3 浅間山 傾斜変化（2009年1月30日00時00分～2月9日13時38分）

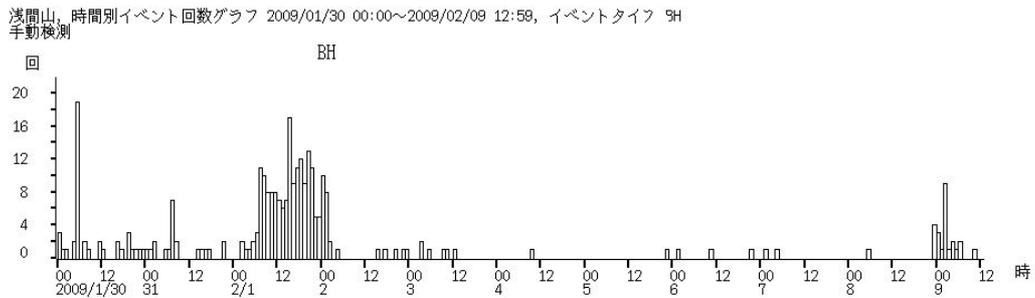


図 4 特別地震回数（BH型地震のみ）（2009年1月30日00時00分～2月9日13時00分）
注）地震回数は暫定値です

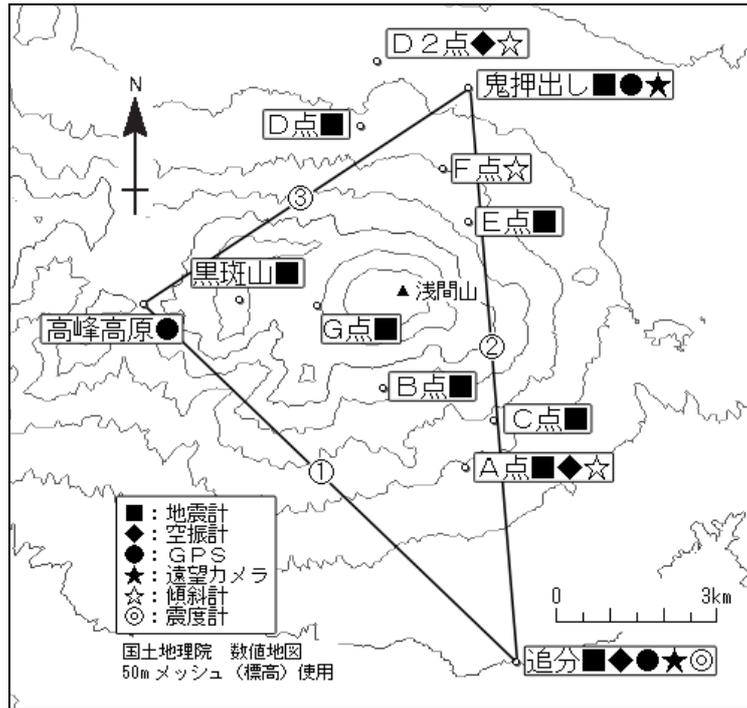


図 5 浅間山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）

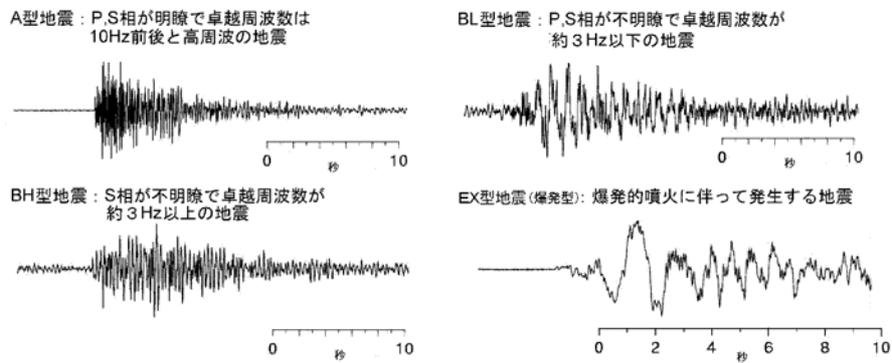


図 6 浅間山 主に発生している火山性地震の特徴と波形例